



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

福祉灯油の上乗せを検討する 考えはないか

町長 現在のところ助成の上乗せの考えはない

コロナウイルス感染症 対策の今後の対策につ いて

質問

変

異ウイルスの感染拡大が収まらない状況にあり、さらなる対策を講じる必要があります。4点について伺います。

①経済的に困窮されている町民の相談窓口は周知されているか伺います。

②町民は自粛生活を余儀なくされています。特に冬期間は自宅生活が多くなることが予想されます。

そこで、福祉灯油助成の上乗せ、さらに、非課税、一人親世帯を対象に水道料金の減免措置を検討する考えはあるか伺います。

町長

1点目について、新型コロナウイルス対応全般として、「役場総合窓口」を設置し、相談を受け付けています。

2点目について、例年、福祉灯油等購入助成事業は、

12月1日現在の灯油小売価格が90円以上の場合に、灯油100リットル相当分を助成しています。現在のところ助成の上乗せの考えはありませんが、今年度に関しては、感染症による影響を踏まえ、12月1日の灯油価格に関わらず実施したいと考えています。

水道使用料は、使用者の皆さまに公平にご負担いただくべきものと考えるところから、水道料金の減免措置については実施する考えはありません。

質問

③中学、高校生が部活動で他の自治体で開かれた大会に出場後、感染の有無を調べる必要があるのではないかと伺います。

④学校現場では、経済的なことなどで悩みを抱えた子供を見逃さず、学校生活を送れるよう、また、学ぶ意欲が失せないような取り組みが重要ではないかと伺います。

教育長

3点目について、部活動の大会後につきましでは、参加生徒は3日間程度休養させる、さらに、大会後2週間の健康観察の内容を毎日確認する事、健康面で不安がある場合は家族に対し医療機関に受診を促す対策をしています。

4点目について、コロナ禍の状況では、新たな悩みやストレスを抱える児童生徒が出てくるかと思えます。学校全体で見逃さず、寄り添い、支え学校生活を送れるよう配慮しています。また、コロナ禍により保護者が急な経済的な困窮になることもありまので、各種制度を活用して支援を考えていきます。

通学路の安全点検について

質問

先般、千葉県においてトラックが下校中の児童の列に突っ込み5名が死傷する痛ましい事故が発

生しました。文科省より、通学路における合同点検の実施の通知が出されたと思いますが、町としての対応策を伺います。

教育長

町では、通学路交通安全プログラムを策定し、児童生徒が安全に通学できるように、関係機関との連携を図っています。また、文科省、道教委からの通知を受け、9月21日に、名寄警察署や関係機関による合同点検を実施する予定になっています。

再質問

冬期間は子供にとって非常に危険なことが多いです。ぜひ、冬期間も危険箇所の点検を実施していただきたいと思います。

教育長

雪が降ってからの合同点検を、教育委員会で検討したいと考えています。